

財政改革実現に向けて

副会長 江坂 春彦 (46 期)

主な担当業務

財務、広報、民事介入暴力対策、会費減免、育英財団、厚生、業務妨害、個人情報保護、法教育、弁護士任官、骨髓、市民会議等



1 第一四半期を終えて

4月1日に着任挨拶をして副会長の仕事が始まりました。前執行部の理事者会に1か月間参加しましたが、自分が理事者になるとまた違った印象です。担当している委員会に関係する議題を提出し、理事者会で議論して方針を決定します。6人の副会長が議題を提出するので、週2回5時間の理事者会でも積み残しが出てしまう状態です。

副会長のデスクには、毎日決裁書が置かれます。次から次へと、こんなにあるのか、と驚く量の決裁書が回ってきます。私は財務担当なので日々の出金のための決裁が多く、どんどん処理しないと未処理の枠が溢れてしまいます。

これらの決裁書を見ると当会がどのような活動をしているのかよくわかります。特に財務関係の決裁書は会がどのような活動でいくら経費を使ったかが明らかになります。その中には「こんな使い方していいのかな?」というものもあります。気づいたときは過去からの経緯等の事実確認をして、不要と思われるものはほかの理事者の意見を聞いて減額や廃止を検討するようにしています。

2 財政改革実現ワーキンググループ (WG)

このWGは前年度末に財政改革を実現するために発足しましたが、今フル回転で各部会が活動しています。私は財務担当なので、事業費チームの副座長、OAチーム、多摩支部チームのメンバーとなって活動しています。

事業費チームは、事業費の増加額を抑えるために具体的な提案をする、という重大使命を持っています。そこで2010年からの事業費の各項目の金額の推移を

調べ、増加が著しい項目についてはその原因を究明しています。以前から指摘されていますが、新規事業を開始したことによる事業費の増加が目立つので、費用対効果を検討する必要があると思います。また既存の事業を継続する必要があるのか、廃止あるいは縮小できないか等経費を有効活用する方法を検討しています。

OAチームは金額が大きいOA関係費用の増加をどのように抑えることができるか、という観点から検討しています。事務局の日常業務に必要なインフラですので、運営に支障のないように経費を削減するためにはどのような方法があるかを検討します。

次に多摩支部チームです。私はメンバーに途中から加わったのでまだ議論に参加していませんが、東京三会が共同で運営していることもあり、本会だけの分析ではわからない部分があると思います。多摩支部の財政状況を把握するために本会と多摩支部との資金の流れを確認し、現状分析から始めています。

3 会員の会財政への関心を高めるために

私は財務担当として、また財政改革実現WGのメンバーとして会員の方々と会財政について話をする機会が多いのですが、会財政の現状認識が異なることに驚くことがあります。会財政に関する情報を共有しないと具体的な改革案を検討するときに議論が噛み合わないという恐れがあります。

私は広報も担当していますので、財政改革に関する広報を継続的に行い、会員が会財政に関心を持って、財政改革について議論できる情報を提供していきたいと思っています。会員の皆様も会財政に関する記事には目を通すようお願いしたいと思います。